

## ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2002年11月5日(最終)

2002年11月3日現在

11月3日に終わる一週間は、低温・乾燥と言う気象条件下、農作業可能日数は6.7日であった。平均気温は州東南地区では平年を14~17度F程下回った。各地で最低気温の記録を更新し、Asotin郡では0度を記録した。降水量は0.05~0.57インチ(Pullman)であったが、冬小麦の生育には不十分な降水量であった。

2003年産冬小麦は91%の圃場で出芽しているが(前週:90%)、土壌温度が低く出芽が遅れ、又土壌水分不足で出芽後の発育も遅れている。氷点下の気温は一部の圃場で生育不良の小麦に被害を及ぼした。小麦地帯では、どの圃場も降水を必要とする状態である。Adams、Lincoln郡の小麦は殆どが“Fair”と報告されている。Whitman郡では低温の為出芽が遅れ、又出芽した小麦は水分を必要としていると報じられている。

## 土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	21	48	31	0
Subsoil (%)	9	56	35	0
Irrigation Water (%)	0	1	99	0

## 小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
2003 Winter wheat				
Seeded (%)	99	99	100	99
Emerged (%)	91	90	94	95

## 冬小麦の生育状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Condition%	3	16	56	23	2

Source: Washington Agricultural Statistics Service

今後は来年4月まで毎月一度気象概況を報告致します。

当該作柄レポートへのご質問、ご意見は下記宛てにお願いします。

小川正晃 : E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)